

企業概要

- 社名：株式会社リュウクス（沖縄県）
- 従業員数：6人
- 資本金：95.7百万円
- 売上高：非公開
- 知的財産：特許6件、商標1件
- 事業内容：加熱改質フライアッシュ関連製品の製造・販売

<http://www.ryux.co.jp/>



加熱改良装置の一例

相談のきっかけ

特許ライセンスビジネスの確立

自社で加熱改質フライアッシュ（火力発電所などの燃焼排ガス中から回収された微細な石炭灰）を製造し販売しているが、装置の改良検討から新規の特許・ノウハウが生まれた。そのため、加熱改質装置の製造・販売に関するライセンスビジネスのモデルを構築したい。

経営基盤の確立

良い技術を持っていても、会社を安定的な経営できなければ意味がない。そこで保有知財も含め、自社の強みを最大限PRすることにより、増資を受けられるようにしたい。また増資に続けて、加熱改質装置の更なる改良を進め、改良技術に関する知財の蓄積を行い、ライセンスによる安定したロイヤリティー収入の獲得を目指したい。

課題と支援の内容

注) 海外知財PD(プロデューサー)は、INPITの専門人材です。

課題	支援のポイントと活用した専門家
事業計画書のブラッシュアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱改質装置の共同開発、業務提携、増資のすべてに関連する事業計画書について、知財の活用を生かした形で完成度を上げる。 <p>中小企業診断士</p>
新型機開発・販売及び知財活用	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱改質装置の新型機開発のために共同開発先の検討を行うと共に、製造・販売ライセンスのビジネスモデルを構築するため、代理店の選定、契約条件、ライセンスの進め方等を検討する。 <p>中小企業診断士 弁理士 海外知財PD^{注)}</p>
増資計画の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・運転資金確保のための増資を検討しているが、特許・ノウハウを最大限生かしたプレゼンの進め方を検討する。 <p>中小企業診断士</p>

リーダー： 藪田安之（中小企業診断士）

支援担当者： 高坂正登（沖縄県知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社知財を軸とした他社との営業連携（大手商社や海外企業）を検討し、複数の業務提携を実施することができた。 ・ 安定運営のための増資戦略を検討し、運転資金確保に向けたアプローチができた。
新型機開発・販売及び知財活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口支援で出願サポートしてきた特許権について、相手先ブランドでの製造のための国内製造実施許諾契約を締結することができ、ライセンス料の一部を受領できた。 ・ 新型機に関して新規特許の権利化を継続して行うことができ、ライセンスビジネスをさらに展開しうる基盤を構築できた。 ・ 海外についても同様のライセンスビジネスを進めるための、アプローチが開始できた。（現状：台湾、他）

社長の支援成果についてのコメント

窓口担当者に特許出願の支援していただいたことから始まり、重点支援を通じて、専門家に知財ライセンスビジネスを中心に事業全般の進め方についてアドバイスをいただき、どうにか事業を軌道に乗せつつあります。加熱改質装置の国内販売を確立し、海外の事業展開、次の知財ライセンスビジネスを進めていきたいと思っております。